

V. がん患者に対するピア・サポート体制に関する都道府県調査

改訂委員会委員長 小川 朝生
国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

A. 目的

ピア・サポートは、がんを含めた慢性疾患に対する基礎的な心理社会的な支援の一形式である。

がん対策推進基本計画（第3期）において、ピア・サポートについて、国が作成した研修プログラムの活用状況に係る実態調査を行い、ピア・サポートが普及しない原因を分析し、研修内容の見直しやピア・サポートの普及を図ることが個別目標に掲げられている。

本事業では、上記の課題に対応するために、研修プログラムの改訂をおこない、各都道府県への情報提供等を進めてきた。

各都道府県におけるピア・サポート研修の実施状況や行政と医療機関との協力体制に関する現状を把握することを目的に、厚生労働省健康局がん・疾病対策課の協力を得て、各都道府県に対してアンケート調査を実施した。

B. 経過

全都道府県のがん対策の担当部署を対象に、ピア・サポートに関する取組み状況についての自記式アンケート調査を実施した。

実施時期は2021年5月25日～6月25日でおこない、47の全都道府県担当部署より回答を得た。

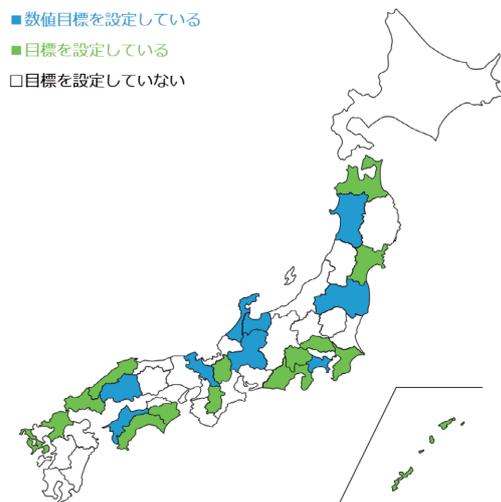
2) 回答結果

アンケートの各項目の結果は以下の通りであった。

(1) 都道府県がん対策推進基本計画におけるピア・サポートに関する目標の設定

47都道府県のうち、何らかの目標を設定している県は24県あり、特に数値目標まで掲げた県は9県であった。

(1)都道府県がん対策推進基本計画におけるピアサポートに関する項目について、目標もしくは数値目標を設定していますか。	県	割合
数値目標を設定している	9	19.1%
目標を設定している	15	31.9%
目標(数値目標)を設定していない	23	48.9%
総計	47	100.0%

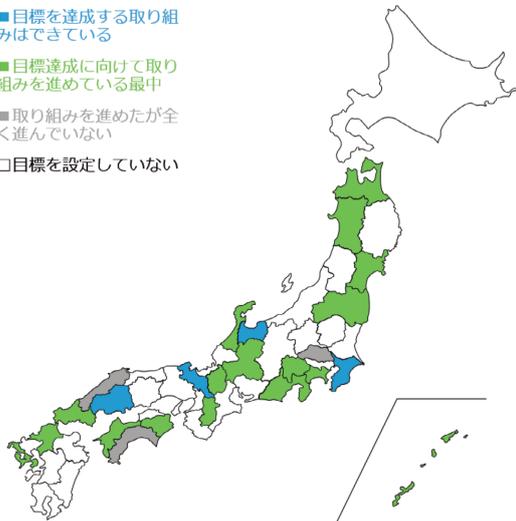


(2) 目標達成に向けた取り組みについて

目標を設定した県のうち、何らかの取り組みを進めているのは21県であり、目標を達成できている県は4県であった。

(2) (1)で目標、数値目標を設定していると考えた自治体にお尋ねいたします。目標、数値目標達成に向けた取り組みはどこまで進んでいますか。	県	割合
目標を達成する取り組みはできている	4	8.5%
目標達成に向けて取り組みを進めている最中	17	36.2%
取り組みを始めたが全く進んでいない	3	6.4%
目標(数値目標)を設定していない	23	48.9%
総計	47	100.0%

- 目標を達成する取り組みはできている
- 目標達成に向けて取り組みを進めている最中
- 取り組みを進めたが全く進んでいない
- 目標を設定していない

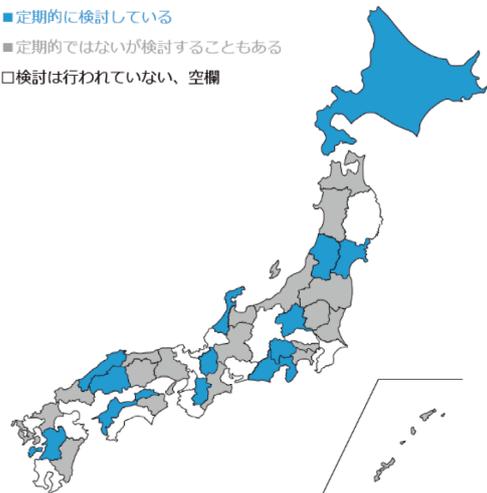


(3) 都道府県がん診療連携協議会、部会等のピア・サポートについて検討する枠組みの有無。定期的な検討の実施

47都道府県のうち、都道府県のがん診療連携協議会等の場で、ピア・サポートについてなんらかの検討を実施している県は34県であった。定期的実施している県が14県あった一方、検討の枠組みのない県も12県あった。

(3)都道府県がん診療連携協議会、部会等でピアサポートについて検討する枠組みをお持ちですか。また定期的な検討は行われていますか。	県	割合
定期的を検討している	14	29.8%
定期的ではないが検討することもある	20	42.6%
検討は行われていない	12	25.5%
空欄	1	2.1%
総計	47	100.0%

- 定期的を検討している
- 定期的ではないが検討することもある
- 検討は行われていない、空欄

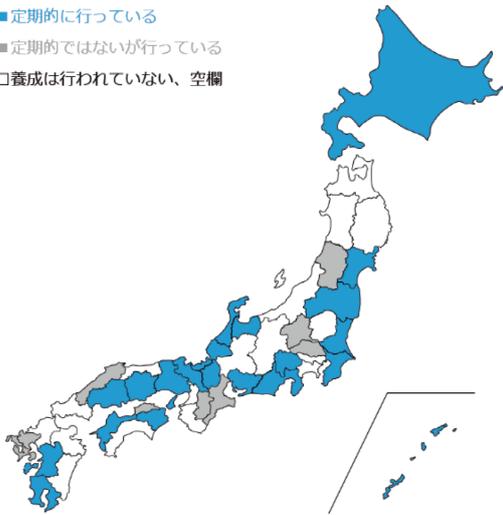


(4) ピア・サポーター養成研修会の定期的な開催状況

都道府県によるピア・サポーターの養成を目的とした研修会を定期・不定期で開催している県は30県あった一方、行っていない県も16県あった。

(4)ピアサポーター養成研修会を定期的に(毎年、2年に1回など)行っていますか。	県数	割合
定期的に行っている	21	44.7%
定期的ではないが行っている	9	19.1%
行っていない	16	34.0%
空欄	1	2.1%
総計	47	100.0%

- 定期的に行っている
- 定期的ではないが行っている
- 養成は行われていない、空欄

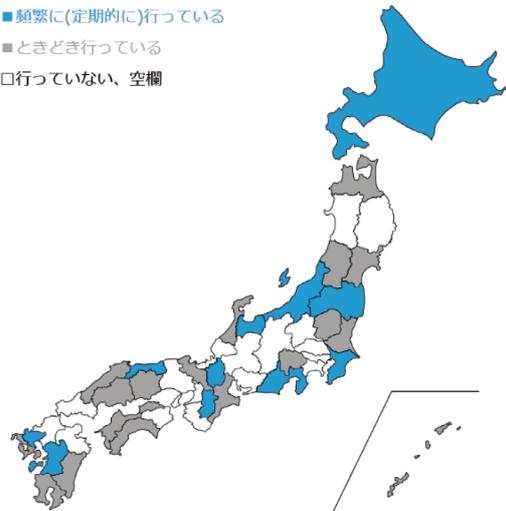


(5) がんサロン同士の連携や情報共有

定期・不定期で癌サロン同士の連携の場や情報共有を行っている県は30県あった。

(5)がんサロン同士の連携や情報共有は行っていますか。	県数	割合
頻繁に(または定期的に)行っている	11	23.4%
ときどき行っている	19	40.4%
行っていない	16	34.0%
空欄	1	2.1%
総計	47	100.0%

- 頻繁に(定期的に)行っている
- ときどき行っている
- 行っていない、空欄

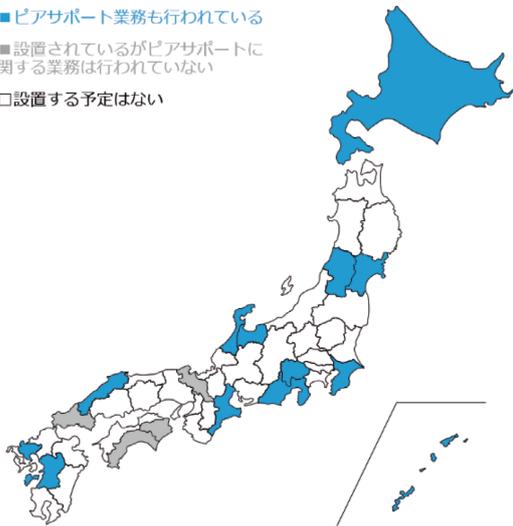


(6) 地域統括相談支援センターを設置する予定

ピア・サポーターの養成等マネジメントを担ううえで活用の望まれる地域統括相談支援センター等について、なんらか設置している県は17県あり、そのうちの13県はピア・サポートに関する業務も行っていた。一方、29の県は設置する予定はなかった。

(6)地域統括相談支援センターを設置する予定はありますか。	県数	割合
すでに設置されており、ピアサポートに関する業務も行っている。	13	27.7%
すでに設置されているが、ピアサポートに関する業務は行われていない。	4	8.5%
設置する予定はない	29	61.7%
空欄	1	2.1%
総計	47	100.0%

- ピアサポート業務も行われている
- 設置されているがピアサポートに関する業務は行われていない
- 設置する予定はない

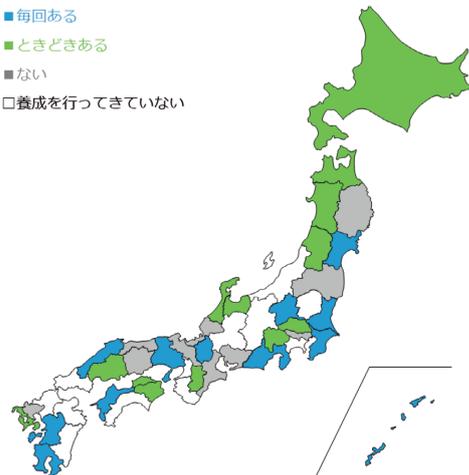


(7) ピア・サポーター養成研修会の内容について、がん診療連携拠点病院と検討する機会をお持ちですか。

ピア・サポーターの養成研修会のプログラム等について、がん診療連携拠点病棟の医療者と検討する場を設置している県は25県であった。養成をしていない、あるいは検討の場のない県は22県であった。

(7)ピアサポーター養成研修会の内容について、がん診療連携拠点病院と検討する機会をお持ちですか。	県数	割合
毎回ある	12	34.3%
ときどきある	13	37.1%
ない	10	28.6%
総計	35	100.0%

- 毎回ある
- ときどきある
- ない
- 養成を行ってきていない

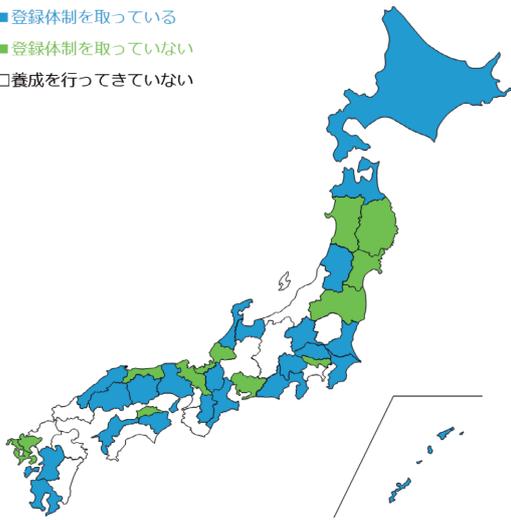


(8) ピア・サポーターを養成した後、登録体制をとっていますか。

ピア・サポーターの養成後のマネジメントとなる登録体制をもつ県は23県であった。

(8)ピアサポーターを養成した後、登録体制をとっていますか。	県数	割合
登録体制をとっている	23	65.7%
登録体制をとっていない	12	34.3%
	35	100.0%

■登録体制を取っている
 ■登録体制を取っていない
 □養成を行ってきていない

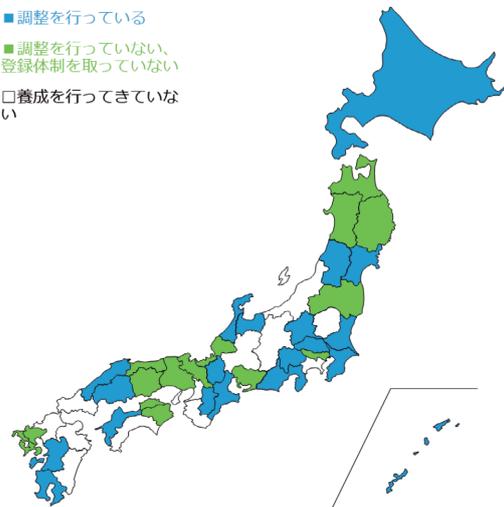


(9) 登録されたピア・サポーターに活動の場を提供するための調整は行っていますか(例：がんサロンへの派遣、紹介など)。

養成したピア・サポーターをがん診療連携拠点病院等へ派遣する等のマネジメントを行っていた県は20県であった。

(9)登録されたピアサポーターに活動の場を提供するための調整は行っていますか(例：がんサロンへの派遣、紹介など)。	県数	割合
調整を行っている	20	57.1%
調整を行っていない	15	42.9%
総計	35	100.0%

■調整を行っている
 ■調整を行っていない、登録体制を取っていない
 □養成を行ってきていない

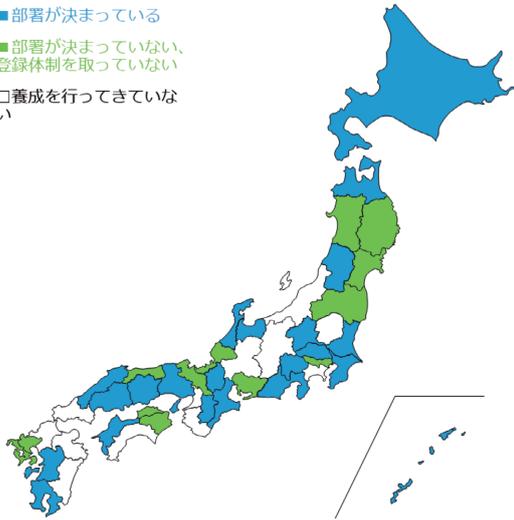


(10) 登録されたピア・サポーターの教育、管理などのマネジメントを全般的に行う部署・担当者（もしくは行政以外の他機関）は定まっていますか。

ピア・サポーターの養成から活用までの担う部署を定めている県は22県であった。

(10)登録されたピアサポーターの教育、管理などのマネジメントを全般的に行う部署・担当者(もしくは行政以外の他機関)は定まっていますか。	県数	割合
決まっている	22	62.9%
決まっていない・登録体制を取っていない	13	37.1%
総計	35	100.0%

- 部署が決まっている
- 部署が決まっていない、登録体制を取っていない
- 養成を行ってきていない

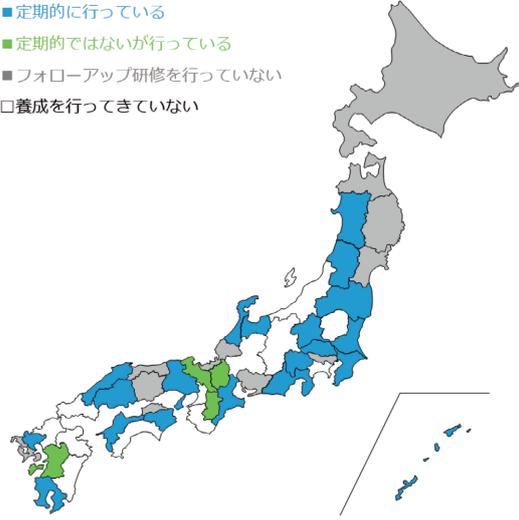


(11) フォローアップ研修会は定期的に行っていますか。

ピア・サポートの質を担保するために重要となるフォローアップ研修を行っている県は24県であり、そのうち定期的に実施している県は20県であった。

(11)フォローアップ研修会は定期的に行っていますか。	県数	割合
定期的に行っている	20	57.1%
定期的ではないが行っている	4	11.4%
行っていない	11	31.4%
総計	35	100.0%

- 定期的に行っている
- 定期的ではないが行っている
- フォローアップ研修を行っていない
- 養成を行ってきていない

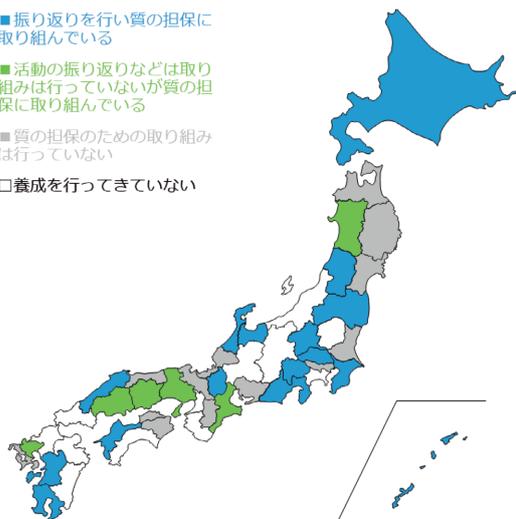


(12) 活動の振り返りなどを行い、ピア・サポーターの質の担保に取り組んでいますか。

同じく、ピア・サポートの質を維持・向上させる上で、ふり返りの機会を作ることは重要である。何らかの質の担保に取り組んでいる県は 22 県あり、そのうち、活動のふり返りを行っている県は 16 県であった。

(12)活動の振り返りなどを行い、ピアサポーターの質の担保に取り組んでいますか。	県数	割合
活動の振り返りを行い質の担保に取り組んでいる	16	45.7%
活動の振り返りは行っていないが、質の担保に取り組んでいる	6	17.1%
活動の振り返りなど、質の担保のための取り組みは行っていない	13	37.1%
	35	100.0%

- 振り返りを行い質の担保に取り組んでいる
- 活動の振り返りなどは取り組みは行っていないが質の担保に取り組んでいる
- 質の担保のための取り組みは行っていない
- 養成を行ってきていない



C. 考察

今回、都道府県のがん対策担当部署を対象に、ピア・サポートに関する各県の取組みの実態調査をおこない、全都道府県より回答を得た。わが国におけるがん領域のピア・サポートの実態が初めて明らかとなった。

結果の主要なまとめは以下の通りである。

- ・都道府県がん対策推進基本計画でピア・サポートに関して目標を設置しているのは 24 都道府県 (51.0%) であった。数値目標を設定しているのは 9 都道府県 (19.1%) であった。
- ・都道府県がん診療連携協議会等で定期的にピア・サポートに関する検討が行われているのは 14 都道府県 (29.7%) であった。また、養成研修の内容をがん診療連携拠点病院と定期的に検討する機会を設定しているのは 12 都道府県 (25.5%) であった。
- ・がん診療連携拠点病院内のがんサロン同士の連携や情報共有が定期的に行われているのは 11 都道府県 (23.4%) であった。
- ・ピア・サポーター養成研修会が定期的に行われているのは 21 都道府県 (44.7%) であった。
- ・ピア・サポーターを養成している都道府県のうち、養成した後登録制度を取っているのは 23 都道府県 (65.7%)、派遣等のピア・サポーター活動の調整を行っているのは 20 都道府県 (51.7%)、登録されたピア・サポーターのマネジメントを行う部署等が決まっているのは 22 都道府県 (62.9%)、フォローアップ研修を定期的に行っているのは 20 都道府県 (57.1%)、活動ごとに振り返りを行っているのは 16 都道府県 (45.7%) であった。

国のがん対策推進基本計画を受けて、都道府県ごとのがん対策に関する計画を立案する。そのなかで、ピア・サポートに関する目標を設定した県がおおよそ半数であった。特に数値目標の設定は 9 県にとどまっており、ピア・サポートに関する取組みやモニタリングの難しさを示している。

特にピア・サポートは、がん患者・家族への心理社会的支援の基盤を成す活動である。そのため、行政と医療機関とが継続して活動

を育む必要がある。しかし、行政と拠点病院がピア・サポートについて検討する場を持っている都道府県は4分の1にとどまっていることが明らかとなった。今後、ピア・サポートの養成・活用を進めるうえで、都道府県ごとに行政担当者と医療従事者の理解を深めると共に、行政と医療機関が県内でどのように育成するかを一緒に検討する場を設けるよう進めていくことがまず求められる。

また、県内のがん診療連携拠点病院等のがんサロンやピア・サポートに関する情報共有が行われている県は11県であった。これは、ピア・サポートの養成に行政のみで関わっている形式や、医療機関内で閉じていることが

多いことを示している。実際には、ピア・サポートのような基本的な心理社会的支援は、患者・家族のニーズに応じて使い分けていくことが大事である。その点で、がん患者・家族が、アクセス可能なピア・サポートに関する情報に接することができるよう促す仕組み作りも重要である。

今回明らかとなった各種の取組みの実態は、ピア・サポートを各都道府県で実施する上でのプロセスを反映している。同じ指標を用いて継続的に評価することにより、ピア・サポートに関する施策の進捗を管理することが可能となる。